



会津大学 同窓会会報

……池上学長インタビュー……



会津大学長
池上 徹彦

平成18年度より会津大学は福島県立から独立行政法人へと組織が改組されます。組織変更に伴い、学長兼理事長の人選を行なうことになっており、この度、角山副学長が新任学長として選任されました。退任にあたり、池上学長の本学におけるご貢献に感謝するとともに、新角山学長について、そして今後の大学への思いをお聞きしました。

Q. 次期学長である角山さんはどんな人ですか？

角山さんは三年前に会津大のU B I C（産学連携センター）の教授として採用しました。彼はいわゆる産業界と大学の関係をもっと強くするのをやってもらおうと採用したので、彼はそういう意味からすると教育の経験はないんです。しかし、社会との接点はよく知っているので産学連携をもっと進めようと加わりました。そして、一昨年の夏に副学長をお願いしました。

これから県立会津大学は今年3月31日をもってなくなり、4月1日からは地方大学法人会津大学になります。従来とはまったく違う形態でもって大学が運営されることになるのですが、彼はそこの学長であり、理事長になるわけです。

Q. 法人化によって会津大学や学長はどのように変わるのですか？

理事長と言うのは大学の全体の責任、例えば財務的なもので言えば、お金をどうやってもってくるか、お金をどうやって使ったらいいのかということを決めたり、大学の先生達、あるいは事務職員の管理の責任という理事長役を務めます。そして研究、教育に責任がある学長役の両方を兼務することになるわけです。

そして法人化することで大学が変わる大きなことは、教授会ですね。教授会というのは、大学の最終的な決定をします。しかし、これからの大学の最終的な決定を教授会がやることはなくなります。その代わりに役員会でもって決めて、理事長である角山さんの責任でもって決めることになる。ですからやり方がとても変わってくるわけです。

もう一つは学長選挙があって、大学院の研究課長を選ぶ選挙があったが、それがなくなります。ですから、大学で一番権力を持つ理事長の選定は、理事長を選定する委員会、すなわち理事長選考委員会で決めることになります。また選挙をしない代わりに、理事

長が、自身の下に属している研究課長など、大学の幹部はすべて彼が決めることになります。限りなく日本の会社に近くなるわけですね。

Q. 次期学長に期待することはありますか？

それはもうがんばって欲しいだけです。じゃないと、僕が7年間持ち上げてきたものが落ちちゃったら意味がないですから。上げていって欲しいですね。少なくとも維持はしてほしいです。これから彼は大変だと思いますよ。法的にいうと大学の責任は、今の私にはとれません。最終的には知事がとるんです。しかし、4月1日からは大学の経営に対する責任は理事長がとることになります。ですから理事長は、そういう意味からすると大変になるでしょう。法人化を先に行った国立の先生と話をしましたが、理事長と学長が一人の人が兼ねてやっているが、理事長と学長は分けて欲しかったと言っていました。やはり大変なのでしょうね。

Q. 同窓会についてお聞きしたいのですが

同窓会は基本的に、会津大の卒業生が会津大学にとっての一番の社会貢献であり、成果でもあると思っています。同窓会同士で情報を交換するし、お互いがより活躍しやすくする、チャンスを増やせるような、そういう一つの集まりにして欲しいですね。同窓会同士のネットワークは必要だと思います。

いずれにしても、企業の評判もいいし、同窓生は活躍しています。学部を出た人が二人も先生になっていますし。また、さっきも言ったように、是非とも今の会津大プラス卒業した人のコミュニティなりを作って欲しい。お互いに情報交換をし、そして最終的に日本に貢献をしてほしいです。

今は県立大学だから、卒業した人たちは大学は面倒見ません。それは県立大は県庁みたいなものだからです。しかし、法人化した後、角山さんが視野が広い人であれば、やはり同窓会をもっと強くしようと行動を起こすでしょう。

Q. 同窓生になにかメッセージをお願いします

会津大の一番の成果は卒業生です。だから卒業生の会をもっと開いてコミュニティをもっと強くして欲しいです。互いに情報交換をしてチャンスを作りましょう。もちろん、東京で何かやるなら行きますよ。

Q. 退任した後、何かされるおつもりですか？

僕は学生第一と考えています。大学で一番の成果はみなさんが自分で一人立ちをして、世の中に出て、それを支援をすることができることが大学の役割です。ですが私は直接教育の現場と言うよりは、むしろ、卒業した人をいろいろ、同窓会を含めて、支援して

いくことになるでしょう。もう65歳になりますので、ゆっくりしたいですが、日本の科学技術の振興、ソフトウェア教育等の仕事が続くでしょう。みなさんに申し訳のない気持ちはあるけれど、たぶん私は色々な事をやるんじゃないかと周りの人は言っています。

Q. 退任するにあたってひとことお願いします

みなさんとお別れするのは非常に寂しい。ですが、会津大学には7年と9ヶ月いて、学長は5年もやっています。胃を手術しているし、体力的にも結構大変なんです。そういうこともあって、一つはほっとしています。

もう一つは、ちょっと残念だという部分があります。さっき言ったとおり、私は色々な事を体験してるから、法人化した直後に新しいものを導入するのは、得意とするところ。たぶん、日本の学長の中では一番経験は積んでいると思います。そういうことができなかったのはちょっと残念ですね。でも、やはり5年もやっていると固定的な考えでやる可能性はありますよね。それを避けるためには県立大学最後の学長で終わるというのは、みなさんにとってプラスになるんじゃないかとも思います。

しかし、学生の皆さん、大学を良くしようとしてる先生の皆さん、そして県の皆さんには、ここでやめるということは申し訳ないという気持ちが正直あります。僕個人としては、少しゆっくりしたいという気持ちが強い。ですが、私の性格は、やったら完成するまでとことんやるタイプなんです。

もちろん、東京に行っても会津大学を支援するのは変わらないし、福島県を支援する気持ちは変わりません。だから、またしばしば会津には帰ってきます。

本日は、退官のお忙しい時期にもかかわらず、本取材のために二日に渡りインタビューにお付き合い頂きました。

副学長任期2年半、学長任期5年間の長い間、会津大学には多大な御貢献を賜りました。長期間に渡り、誠に有難う御座いました。

池上学長 略歴

池上徹彦(Tetsuhiko Ikegami) 1940年5月東京生まれ

1963年 東京工業大学電気Bコース卒

1963年 同 博士課程修了

同 助手

1971年 NTT 武蔵野電気通信研究所

1994年 取締役、NTT 基礎研究所所長

米国のIEEE Laser & Electro-Optics Society の会長就任

1996年 NTT アドバンステクノロジー(株) 代表取締役社長

1998年7月 副学長就任

2001年4月 学長就任

2005年4月 学長再任

2006年3月 学長退任

会津大学今年度法人化へ

福島県では平成15年12月に、県立医科大学、会津大学を平成18年4月から独立行政法人として運営していくことを決定しました。独立行政法人とは、地方公共団体が地方独立行政法人法に基づいて設立することができる、地方公共団体と民間企業の間的な性格を持つ法人です。これまで県や市町村が行なってきた試験研究や大学の設置と管理などの事業を、新たに設立した法人がこれまで以上に効率的かつ効果的に進めていくことがこの制度の狙いです。

これまで会津大学では、ある程度自主的な運営が行なわれてきましたが、一方では、県の一機関として予算や組織に関する一定の制約の中で運営されてきました。しかし、急速な少子化による大学進学者の減少や、大学同士の競争の激化が予想されることから、特色ある大学運営を行い、その存在価値を高めていく必要があると考えられ、法人化に踏み出しました。

会津大学は他の総合大学に比べれば小規模な大学と言えますが、それゆえに目的を明確化させることができ、組織的にも小回りがきくという利点があります。また、地域の特性も生かして社会情勢の変化に素早く対応し、特色ある大学運営を行なっていくことも可能です。法人化は大学をさらに発展させるための手段になるのです。そのため会津大学では、今一番の目玉であるベンチャー企業をもっと目立たせたいと考えています。

法人化により、大学は予算や組織面での自由度が大きくなりますから、弾力的に学科を編成したり、様々な履修コースの工夫をしたりすることができるようになります。また法人化後は第三者機関から定期的な評価を受けることになるため、大学の教育や研究が客観的に審議され、授業等の改善を反映させていくことになります。今までもそれぞれの専門分野で人材育成や学術研究の向上、公開講座の実施など、県民生活に直接、間接的に貢献してきましたが、これについては必要経費を県が引き続き財政処置していくことになります。そのため、県の財政支出を減らすことはありません。

法人化による授業料の変化についてですが、大幅な値上げが起きないように県が歯止めをかけているため、多少の値上げはあっても大きく変化することはないと考えられます。これは、県があらかじめ授業料等の上限を決めておき、その範囲内で公立大学法人が授業料を定めるという仕組みになっています。よって今のところほとんど変わりませんが、自由度が増すために、将来大学側がコストのかかる教育サービスを提供しようとするれば授業料は上がる可能性があるわけです。

県立大学は皆さんの税金で運営されるものであり、それは法人化後も同様で大学運営の大きな方針や方向は県の政策に沿って行なわれるべきものです。県が大学の進むべき方向を定める中間目標を策定しますし、運営状況についての評価も実施します。また、運営費交付金の額や重要な事項の決定には県議会の議決も必要です。これにより大学が県の政策に沿わない運営がなされることはないわけです。

県立大学の法人化は、福島県としては初めて取り組む事業です。会津大学が法人化することによりどう変化していくのかが、今後注目すべき部分となるでしょう。

資格取得情報

学生がコンピュータにおける専門知識や英語能力を向上させるために情報処理技術者試験合格者やTOEIC、TOEFLの高得点者には奨励金を支給しています。

以下の方々は平成17年度1年20日までの支給対象者です。

基本情報試験・・・平成17年度春期126名中22名、合格
平成17年度秋期207名中13名、合格

<情報処理技術者試験>・・・計14名

テクニカルエンジニア（ネットワーク）・・・受験者7名
(4年生) 犬飼優博

テクニカルエンジニア（エンベデッドシステム）・・・受験者3名
(4年生) 片山 肇

情報セキュリティアドミニストレータ・・・受験者8名
(1年生) 山田拓人

ソフトウェア開発技術者試験・・・受験者49名
(2年生) 高梨哲也、高橋秀一、安田広大
(3年生) 宇島 誠、大平智博、千葉翔平、土屋和良、福与恒太、道上洋介
(4年生) 荻原寛子、戸部輝昌

<語学試験>・・・計10名

TOEFL（コンピュータベース250点以上）：（3年生）富永直樹
TOEFL（コンピュータベース213点以上）：（4年生）梅原和世、江口将史
TOEIC（860点以上）：（1年生）野田孝一
（2年生）小栗孝之
TOEIC（730点以上）：（3年生）五十嵐千晴、道植洋介
（4年生）遠藤三香、小野祐介、物井 梢

出典：後援会だより15号より

2005 年 度 就 職 先

学部生

2006.3.31 現在

	学 部 計			
	進 路 希 望	女 子	内 定 者 数	女 子
民 間 企 業	1 3 4	1 9	1 3 1	1 8
県 内			1 8	3
県 外			1 1 4	1 5
内 定 率 (%)	9 8 . 5			
教 員	7	7	7	7
公 務 員	1	0	1	0
起 業	1	0	0	0
家 業	0	0	0	0
小 計	1 4 3	2 6	1 4 0	2 5
本 学 大 学 院	4 5	4	4 5	4
他 の 大 学 院	1 0	0	1 0	0
海 外 の 大 学 院	5	2	1	0
小 計	6 0	6	5 6	4
そ の 他 (*)	9	1	5	1
未 回 答 ・ 未 定	6	0	0	0
合 計	2 1 8	3 3	2 0 1	3 0

* 「その他」学部生 内定者：専門学校3、
地公臨1、未定者：専門学校1、他大学編
入1、秋卒業のため不明1

大学院生

2006.3.31 現在

	学 部 計			
	進 路 希 望	女 子	内 定 者 数	女 子
民 間 企 業	6 0	6	6 0	6
県 内			8	1
県 外			5 2	5
内 定 率 (%)	1 0 0			
教 員	2	0	2	0
公 務 員	0	0	0	0
起 業	0	0	0	0
家 業	0	0	0	0
小 計	6 2	6	6 2	6
本 学 大 学 院	4	0	4	0
他 の 大 学 院	1	0	1	0
海 外 の 大 学 院	0	0	0	0
小 計	5	0	5	0
そ の 他 (*)	3	2	1	1
未 回 答 ・ 未 定	1	0	0	0
合 計	7 1	8	6 8	7

* 「その他」院生：主婦業

★県内企業就職	学部	15社	18名
	大学院	6社	8名

東証1部上場企業	学部	17社	19名
	大学院	15社	18名

出典：会津大学学生課

求人数

県内	32件	64人
県外	1,275件	2,530人
計	1,307件	2,594人

学部生		
BSNアイネット	クラリオン	トヨタコミュニケーションシステム
FSK(福島総合計算センター)★	グランドクリエイティブ	日商エレクトロニクス
IJJ	グリーンキャット	日本銀行
JTB情報システム	クレスコ	日本システム開発
JTB東北	クロスキャット	日本システムテクノロジー
NECエンジニアリング	群馬トヨタ	日本データコントロール(2)
NECソフトウェア東北(2)	コスモス	日本テクニード
NECテレネットワークス	コムシス	日本デジタル研究所
NSSLCサービス	コンピュータシステムエンジニアリング	日本電気通信システム
NTTデータ東北	サイバーコム	ニラク★
NTTデータフロンティア	三栄ハイテックス	ネオジャパン
PFU	サントラスト	ネットワークサービスアンドテクノロジーズ
SANKYO	サンライズ	ネットワンシステムズ
SCC★	ジグノシステムジャパン	パイオニアシステムテクノロジー
SFCG	システムデザイン	パワースタッフ
TISシステムサービス	ジャステック	日立サイエンスシステムズ
TIS	情報システムエンジニアリング	日立ハイコス
TMI総合法律事務所	シンク	日立ハイブリットネットワーク(2)
VSN	新日鉄ソリューションズ	日立ビジネスソリューション
アートゥーン(2)	セガ(2)	ビック東海
アーベール工業★	セブシーイレブン・ジャパン(2)	福島キャン★
アイ・エス・ピー	センコー	福島県中央計算センター★
アイヴィス	セントラル情報センター	福島情報処理センター★(2)
	総合警備保障	富士インフォックス・ネット
アイシンク	ソニーLSIデザイン	富士通エフ・アイ・ピー
アイシン精機	ソフトクリエイト	富士フイルムソフトウェア
アイティフォー	ソフトバンク・テクノロジー	フライトシステムコンサルティング(3)
アイネス	ソルクシーズ	ベストロン
アイネット	大日本印刷	毎日コミュニケーションズ(2)
アイル(2)	立岩	三菱電機インフォメーションシステムズ
アクティリンク	たむら農業協同組合★	ムネカタ★
アドソル日進	ティーアンドエフカンパニー★(2)	山本電気★
アルパイン★	テクモ	ユニテック
インクスエンジニアリングサービス	テンアライド	ヨコハマシステムズ
インターネットセキュリティシステムズ	電通国際情報サービス	ヨドバシカメラ
エクサ	東海旅客鉄道	ラック
エフコム★(2)	東京エレクトロニクスデバイス	リオン・ドールコーポレーション★
エムケー精工株式会社	東京システムリサーチ	リコーソフトウェア
オータ	東芝医用システムエンジニアリング	リョーイン
オオタ	東北リズム★	(公務員)
カテナ	ドコモ・システムズ	福島県警★

大学院		
ACCESS	泉放送製作	トコム★
DNP情報システム	沖データシステムズ★	日商エレクトロニクス(2)
IJJ	会康エンジニアリング★	日放電子(2)
JTB情報システム	栗菱コンピューターズ	日本SGI
NECエレクトロニクス	コナミ	日本電気
NECシステムテクノロジー	三栄ハイテック	日本電気航空宇宙システム(2)
NECソフトウェア東北	サンテック	日本電気通信システム
NECマイクロシステム	ジェイアール東日本情報システム	日本ビューレット・パッカード
NTTPCコミュニケーションズ	新日鉄ソリューションズ	日本ユニシス
NTTエレクトロニクス	セイコーエプソン(2)	野村総合研究所
NTTコミュニケーションズ	総合警備保障	ハドソン
NTTソフトウェア(2)	大日本印刷	日立ケーイーシステムズ
NTTデータ	テレビ神奈川	日立情報システムズ
YKK	東京エレクトロニクスシステムズ	富士通(2)
あいづ・ジャパン★(3)	東京三菱インフォメーションテクノロジー	三菱自動車エンジニアリング
会津オリンパス★	東芝テック	三菱電機メカトロニクスソフトウェア
会津ガス★	トータルオフィスオー	
アドイン研究所	独立行政法人宇宙航空研究開発機構	

※★は県内企業

教職(講師)	
福島県立会津学鳳高校	会津若松第二中学校
福島県立田島高校	喜多方第三中学校
群馬県立館林高校	西会津中学校

出典：会津大学学生課

同 窓 会 事 業 報 告

総会報告

平成17年度会津大学同窓会定期総会が、昨年10月8日（土）午後4時から会津大学研究棟S1講義室で開催されました。当日は会津大学学園祭の開催もあり、会には約30名が集まりました。会則に従い、会長が議長を、その他、事務局長が事務連絡役、議事録等のサポートを運営委員長が努めました。また、学生課からも1名が出席をしました。

会の進行は、角山副学長が冒頭に来賓挨拶を、続いて、会長が挨拶を致しました。次に、報告承認事項に進み、事務局長から平成16年度事業報告、平成16年度収支決算報告がされました。その後、審議承認事項として、第1号議案、平成17年度事業計画案を、第2号議案、平成17年度収支予算案を、第3号議案、役員改選を執り行いました。限られた時間の中で様々な質問や意見が交わされ、活発な会となりました。

事業報告では、平成16年度事業の経過報告がされ、ホームページの整備、及び会報の発行、総会・懇親会の開催について、それぞれ報告がありました。

決算報告の内容は表1の通りです。懇談会は後援会と共同で主催し、学生課が管理しているものですが、開催を予定しておりませんでしたので0円となっています。また、旅費の決算額が予算額より少ないのは、理事会に出席できた役員が予定よりも少なかったためです。

平成17年度事業計画案では、交流会について、本年度は新規に支部会での開催を新しく行なう計画が発表されました。

収支予算案の内容は表2の通りです。交流会補助費は、事業計画のとおり支部会の交流会のための費用ですが、本年度は新設予算であることから、実験的なものとして、少ない予算計上となっています。また、旅費が増えたことについては、役員改選に伴い、理事会出席役員の増大を計画したものです。その他、郵送料が減っていることについては、昨年までの事業により、メールを利用するようになったためです。

役員改選は、改選案が事務局から提出されました。改定案は事務局が各役員に継続意思等の確認を行い、辞任により生じた欠員に関しては新任役員を新卒業生から選任し作成いたしました。

議案はどれも承認され、閉会となりました。

平成16年度事業報告

1. ホームページ

同窓会事業の告知と事業への参加促進を目的とし、ホームページの整備を行いました。内容としては、同窓会の役員、規定、及び、方向性等に関する情報の公開です。また、同窓会の住所録作成のため、所在地の入力手段の提供を同ホームページ内に整備しました。

2. 同窓会誌

「今の会津大学を知る」を目的に、同窓会会報を作成しました。

内容は、サークル紹介、ベンチャー企業紹介、会津大学のイベント紹介、市内の店舗紹介等を盛り込み、取材に関しては村川教授とOBの佐藤寛氏に行い、記事を掲載しました。

配布方法として、Webからのダウンロードを主とし、総会では印刷物の配布を行ないました。

3. 総会及び交流会

一年の経緯として、総会で、事業報告、次年度の事業案、予算案の発表を行ないました。また、より多くの方に参加をして頂くために会津大学の学園祭と同時期に開催しました。交流会に関しては、会津大学後援会と合同で開催し、会津大学「櫓」にて行ないました。

平成 16 年度同窓会収支決算

収入の部 (単位:円) 表1

科 目	予算額	決算額	摘要
前期繰越金	1,216,271	1,216,271	平成15年度より繰越
会費	2,470,000	2,470,000	12期生247名×10,000円
雑収入	10	27	預金利子
合 計	3,686,281	3,686,298	

支出の部 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	摘要
事業費	800,000	800,000	会報・HP委託費
懇談会補助費	200,000	0	
雑費	200,000	9,030	消耗品・諸会費
管理費	50,000	17,430	回線費・サーバー維持費
旅費	300,000	164,520	出席役員旅費
郵送費	400,000	87,760	総会通知費
予備費	200,000	0	
合 計	2,150,000	1,078,740	

収支決算額

収入総額 3,686,298 円

支出総額 1,078,740 円

繰越金 2,607,558 円

出典：平成 17 年 10 月定期総会提出資料より

平成 17 年度事業計画(案)

1. ホームページ

同窓会事業への理解・広報と参加促進を目的とし、ホームページの運営を行ないます。内容としては、会津大学同窓会に関する情報を掲載するものとします。

2. 会報誌

卒業後、会津を離れた同級生、会津にいらながらも、会津大学からは離れた同窓生に対して、会津大学の状況を会報を通じて伝えることが目的です。

3. 交流会

実際の再会の場の提供を交流会により実施します。学園祭、総会と合わせた開催のほか、支部単位での開催など同窓会が参加しやすい工夫を行ないます。

平成17年度同窓会収支予算（案）

収入の部 (単位:円) 表2

科 目	本年度予算	前年度予算	摘 要
前期繰越金	2,607,558	1,216,271	平成16年度より繰越
会費	2,480,000	2,470,000	13期生248名×10,000円
雑収入	10	10	貯金利子
合 計	5,087,568	3,686,281	

支出の部 (単位:円)

科 目	本年度予算	前年度予算	摘 要
事業費	800,000	800,000	会報・HP委託費
懇談会補助費	0	200,000	
交流会補助費	300,000	0	
雑費	50,000	200,000	消耗品・諸会費
管理費	50,000	50,000	回線費・サーバー維持費
旅費	500,000	300,000	出席役員旅費
郵送費	180,000	400,000	総会通知費
予備費	300,000	200,000	
合 計	2,180,000	2,150,000	

収支予算額

収入予算額 5,087,568 円

支出予算額 2,180,000 円

繰越予算額 2,907,568 円

出典：平成17年10月定期総会提出資料より

役員一覧

役職	名前	理事	佐藤和彦	理事	渡部信勝	理事	板橋秀樹
会長	上野文彦		小野洋		佐藤和彦	大阪支部長	相馬正継
副会長	桜井一徳		板橋秀樹	東京支部長	野山孝太郎	理事	野仲真佐男
	野山孝太郎		高橋朋也	理事	高橋朋也		
	相馬正継		野仲真佐男		小野洋		
理事	渡部信勝	会津支部長	上野文彦	仙台支部長	桜井一徳	事務局長	小林呂嘉

＝編集後記＝

学内の新聞の作成はしたことがありますが、会報誌の作成は初めてなので、緊張しました。それでも、たくさんの人の協力があって、同窓会会報誌を完成させることができました。協力してくださった皆さん本当にありがとうございます。

【協力 会津大学新聞部】

〔発行〕 会津大学同窓会事務局
 〔住所〕 〒965-8580 会津若松市
 一箕町鶴賀字上居合90
 会津大学学生課
 〔電話〕 0242-37-2600
 〔FAX〕 0242-37-2526
 (c)会津大学学生課

2006 禁無断転載